

ルレ・エ・シャトーへ、新たに 10 軒のホテル&レストランが加盟

“食とおもてなしによる、より豊かな世界”をヴィジョンに掲げ、ホスピタリティの高さを象徴する協会として知られる「ルレ・エ・シャトー」に、新たに 10 軒のホテル&レストランが新メンバーとして加盟しました。

今回は、アフリカのナミビアにあるサファリ・ロッジから、ポルトガルの首都リスボンの中心地に建つホテルや、ロンドン市内にあるミシュラン 2 つ星レストラン、そしてエクアドルの首都キトの旧市街地に佇む楽園ホテルまで、個性豊かなホテル&レストランが仲間入りしました。辺りにある自然や文化を守り、その地でとれる貴重な資源や食材を大切に使い、ゲストに提供する — どの施設も、ルレ・エ・シャトーが掲げる理念を体現するメンバーばかりです。新たに加わったルレ・エ・シャトーファミリーで、ぜひ素敵なひと時を体験してください。

ビバングム (イギリス/ロンドン) ✦ミシュラン二つ星

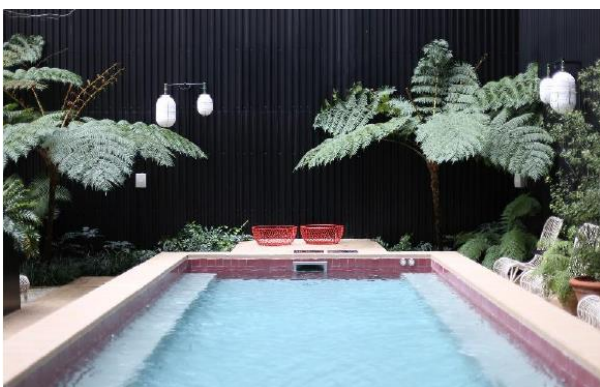
Bibendum, London, United Kingdom – 2 Michelin stars



イギリス・チェルシー地区、アールデコ調のファサードが美しいビルに佇むフレンチレストラン「**ビバングム**」。その名から想像するように、かつてフランスのタイヤメーカー「ミシュラン」社や、その名を冠した「ミシュランガイド」の本社が入っていた、由緒ある建物にレストランを構えています。シェフのクラウデ・ボッシ氏は自身のルーツであるフランス・リヨン地方のテイストにモダンなタッチを加えたフランス料理を大胆に表現し、ゲストに提供します。

ヴァルヴェルデ・ホテル (ポルトガル/リスボン)

Valverde Hotel, Lisbon, Portugal



リスボンのスタイリッシュなリベルダーデ大通りに建つ「**ヴァルヴェルデ・ホテル**」は、螺旋階段や彫刻が施された小壁など、クラシックなファサードが目を引く、エレガントなタウンハウス調ホテル。ホテルに一步踏み入ると、1950 年代の調度品やベルベット製の肘掛け椅子、絵画、そして彫刻がゲストを出迎え、親密な雰囲気漂うプライベートな空間が広がります。穏やかなひと時を過ごしたいなら、パティオがオススメ。豊かな緑に囲まれたプールは、都会の喧騒から離れた、まさに楽園。ただくつろぐだけでも、愛読書を片手にゆっくりと午後を過ごすのにも最高の

空間です。キッチンではカルラ・ソウサシェフが自身のルーツであるカーボベルデの食文化にポルトガル料理のエッセンスを加えたクリエイティブでゲストを楽しませてください。

タベルニア・エステア（イタリア／ナポリ）✦ミシュラン二つ星
Tavernia Estia, Naples, Italy – 2 Michelin stars



両親から料理に対する情熱とともに、スポシト兄弟が受け継いだレストラン「**タベルニア・エステア**」。フランセスコ氏はシェフとして、マリオ氏はソムリエとして、レストランを切り盛りしています。温かい雰囲気と、こだわり抜いたワインセクションは、ナポリ地方、アマルフィ海岸、延いてはイタリアの食文化を色濃く反映した、繊細な料理をより一層引き立てます。ペコリーノチーズムースが詰まったアーティチョークの燻製や、黒トリュフ、ジュノベーゼ風ナポリタンパスタなど、地元の生産者が届ける常に新鮮な食材を使ったメニューでゲストの五感を刺激します。

ル・ドメーヌ・ドゥ・ラ・クロース（フランス／モントナック）
Le Domaine de la Klauss, Montenach, France



ドイツの国境に近いモントナックの 7 つの丘が目の前に広がる「**ル・ドメーヌ・ドゥ・ラ・クロース**」。石造りの厳かな外観とは相反して、ホテルには 800 平米もの広さを誇る、宝石由来のミネラルスキンケアブランド「Gemology」のスパが併設されており、ウェルビーイングの源として、ゲストにくつろぎとリフレッシュのひと時を提供します。ホテルの客室名はすべてオーナー家族の名前を冠していて、レストランでは、敷地内にある自家菜園や農場で大切に育てられた新鮮な食材を、シェフが誠意をこめて調理し、サービスします。

カサ・ガンゴテナ（エクアドル／キト）
Casa Gangotena, Quito, Ecuador



エクアドルの首都キトの旧市街地にある、有名なサンフランシスコ広場に、ヤシの木に囲まれて厳かに佇む「**カサ・ガンゴテナ**」。クリーム色のネオクラシック式建築のホテルの中は、美しい天井画や木工細工が施されたインテリアでゲストを招き入れます。また、テラスからはエクアドルの首都キトが誇る多様な街の風景が一望できるでしょう。パイロン・リヴェラシェフは、エクアドルの各地から取り寄せた食材を使い、エクアドルらしい伝統的な料理にスペインやヨーロッパのテイストを加えた料理を提供します。

ホテル・デル・パルク (エクアドル／グアヤキル)
Hotel del Parque, Guayaquil, Ecuador



「ザ・ホテル・デル・パルク」はグアヤキル歴史公園内に建つホテル。広大な敷地には約 50 種類の動物が生息し、まさに熱帯のオアシスです。コロニアル様式が美しい外観を誇るこのホテルはダウレ川岸にあり、ホテルのパティオでは、美しい噴水越しに樹齢百年を超える木々や蘭の花々が広がり、様々な鳥たちのさえずりが聞こえます。心と身体、そして精神を整え、リラックスするには最高のホテルでしょう。

エパコ・サファリ・ロッジ (ナミビア／オマルル)
Epako Safari Lodge, Omaruru, Namibia



ダマラランド地方の境に建ち、木々が生い茂る山深い場所に静かにたたずむ「エパコ・サファリ・ロッジ」は、ナミビアが誇る手付かずの豊かな大自然の中にあるラグジュアリーホテルです。ここは狩猟採集民族で世界最古の民族といわれる「サン族」の地であるため、ロッジの周辺ではサン族による岩絵が見られ、彼らの存在を身近に感じることができでしょう。ロッジは 1 万エーカーを超える動物保護区内にあるため、シロサイやヒョウ、ブチハイエナ、そして鮮やかな色を誇る鳥たちの生息を間近で観察することもできます。神聖な野生動物の住処で優雅に過ごす…ここは自然愛好家にとってはまさに夢のような場所で、写真家には

パラダイスのような場所です。

グット・シュタインバッハ・ホテル (ドイツ／ライト イム ヴィンクル)
Gut Steinbach Hotel, Reit im Winkl, Germany



オーストリア国境からほど近く、キームガウアー・アルペンに面した「グット・シュタインバッハ・ホテル」は標高 600m に位置し、敷地の広さは 50 エーカーを誇ります。息をのむほどの美しい景色に囲まれ、ホテルでは様々なアウトドア・アクティビティが用意されているので、スポーツ好きや自然愛好家には最高の滞在となるはず。メイン棟の他に、池のほとりにはコテージが点在し、アクティブに過ごすバカンスはもちろん、都会の生活から離れ、シンプルに穏やかな休暇を過ごすのも良いでしょう。7 棟あるシャレーには専用の庭や暖炉、そしてリラックスエリアが完備。レストランでは自家菜園や農場で育てた採れたて野菜や食材を

使った料理をサービスし、心もお腹も満たしてくれるでしょう。

レストラン・オラーナ (オーストラリア・アデレード)
Restaurant Orana, Adelaide, Australia



オーストラリアの歴史に魅了された、スコットランド出身のシェフ、ジョック・ゾンフリロ氏が 2013 年にオープンした「レストラン・オラーナ」。オーストラリアの先住民アボリジニの言葉で「Welcome」を意味するレストラン名のとおり、シェフが 17 年もの交流をもって得たアボリジニの食文化からインスピレーションを得た料理をふるまいます。マカデミアナッツとタイムの原種のメニューや、地元ハーブやポテト、胡椒を使ったクロコダイル・スープ、マレー川産の淡水魚マレーコッドにネギとユウカリを合わせたメニューなど、斬新な料理で世界中の食通の舌を唸らせます。

MV セオリークルーズ船 (エクアドル／ガラパゴス) ※2019 年 3 月プレオープン
MV Theory Cruise Vessel, Galápagos, Ecuador



MV オリジナルクルーズの姉妹船である「MV セオリー」は、ユネスコ世界遺産として有名なガラパゴス諸島を探索するクルーズ客船です。母なる自然で保護されてきた様々な生態系を間近で見ることができる素敵な冒険の旅をお約束します。



ルレ・エ・シャトーについて

1954年に発足したルレ・エ・シャトーは、世界中の厳選された580のホテルとレストランが加盟する協会です。ルレ・エ・シャトーは、強い信念を持ち、お客様と心のこもった関係を築きたいと願う個人経営のホテルオーナーやシェフによって支えられています。

ナバレーのブドウ畑から、フランスのプロヴァンス地方、インド洋にちりばめられた数々の美しいビーチ、そして伝統的な日本の温泉旅館まで、ルレ・エ・シャトーは世界中に拠点を展開しています。土地の文化と人類の歴史が感じられる唯一無二の体験からインスピレーションを得た、すばらしいライフスタイルをご紹介します。

ルレ・エ・シャトーのメンバーは、世界中の食文化やおもてなしの伝統が誇る、豊かさと多様性を守り、推進したいという思いを胸に抱いています。2014年にユネスコで宣言したルレ・エ・シャトーのビジョンにもあるように、土地の歴史や環境の保護にも積極的に取り組んでいます。

【日本予約センター】TEL : 0800-888-3326 URL : www.relaischateaux.jp

【Facebook ページ「Relais & Châteaux (JP)」で最新情報を発信しています！】

ルレ・エ・シャトーに関する、日本発信の最新旬の情報を随時投稿しています！

Facebook ページでも是非、「 いいね！」を宜しくお願いします。

発信元：

ルレ・エ・シャトー 日本オフィス 神谷由紀子（かみや ゆきこ）

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-10-9 ラウンドクロス赤坂 9 階（ATOUT FRANCE フランス観光開発機構内）

TEL: 03-6821-3620 | FAX: 03-6745-9282 | y.kamiya@relaischateaux.com |

<http://www.relaischateaux.jp/>

プレスお問い合わせ：

ルレ・エ・シャトー 日本 PR 担当

株式会社オーダス（AUDACE Corporation）代表 伊藤宏和（いとう ひろかず）

〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町 2-7-5 NKビル 4F

TEL: 03-5615-8177 | FAX: 03-5615-8178 | ito@audacejapan.com

